



## 平成24年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年7月26日

上場取引所 東

上場会社名 中外製薬株式会社

コード番号 4519 URL <http://www.chugai-pharm.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 永山 治

問合せ先責任者 (役職名) 広報IR部長 (氏名) 千葉 暢幸 TEL 03-3273-0881

四半期報告書提出予定日 平成24年7月31日 配当支払開始予定日 平成24年8月31日

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年12月期第2四半期の連結業績（平成24年1月1日～平成24年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第2四半期	185,263	1.8	34,328	△2.5	34,347	△5.1	20,889	22.2
23年12月期第2四半期	181,938	△0.2	35,191	27.7	36,182	38.3	17,087	4.3

(注) 包括利益 24年12月期第2四半期 21,377百万円 (13.0%) 23年12月期第2四半期 18,913百万円 (－%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第2四半期	38.39	38.37
23年12月期第2四半期	31.40	31.39

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年12月期第2四半期	542,152	469,354	86.2
23年12月期	533,482	459,072	85.6

(参考) 自己資本 24年12月期第2四半期 467,078百万円 23年12月期 456,848百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	—	20.00	—	20.00	40.00
24年12月期	—	20.00			
24年12月期(予想)			—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成24年12月期の連結業績予想（平成24年1月1日～平成24年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	418,500	12.0	80,000	28.1	80,500	26.6	49,000	39.1	90.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有

② ①以外の会計方針の変更： 有

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(注) 詳細は、添付資料P. 4「サマリー情報（注記事項）に関する事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年12月期 2 Q	559,685,889株	23年12月期	559,685,889株
② 期末自己株式数	24年12月期 2 Q	15,469,916株	23年12月期	15,494,118株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年12月期 2 Q	544,199,915株	23年12月期 2 Q	544,193,784株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本業績予想作成時点において入手可能な情報に基づき当社が合理的と判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれているため、実際の成果や業績は記載の予想と異なる可能性があります。

なお、上記予想に関する事項は、添付資料P. 3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で使用した資料、動画配信、Q&A 等については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

・平成24年7月27日（金）・・・・・・機関投資家、アナリスト向け説明会

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	4
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10

# 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

単位：億円

	平成23年 第2四半期実績	平成24年 第2四半期実績	前年同期比
売上高	1,819	1,853	+1.9%
製商品売上高（タミフル除く）	1,702	1,719	+1.0%
売上原価	745	817	+9.7%
売上総利益	1,074	1,035	△3.6%
営業費	453	430	△5.1%
研究開発費	269	262	△2.6%
営業利益	352	343	△2.6%
経常利益	362	343	△5.2%
四半期純利益	171	209	+22.2%

当第2四半期連結累計期間の売上高は、1,853億円（前年同期比1.9%増）となりました。

年度間で変動の大きい抗インフルエンザウイルス剤「タミフル」（売上高81億円、同76.1%増）及びその他の営業収入（53億円、同26.4%減）を除いた製商品売上高は、1,719億円（同1.0%増）です。

### [国内製商品売上高（タミフルを除く）]

タミフルを除く国内製商品売上高は1,504億円（同0.3%減）となりました。がん領域の堅調な成長と平成23年発売の新製品（活性型ビタミンD3製剤「エディロール」及び持続型赤血球造血刺激因子製剤「ミルセラ」）の寄与が見られたものの、インターフェロン市場の縮小と競合品の発売による移植・免疫・感染症領域の二桁減と長年の主力品である遺伝子組換えヒトエリスロポエチン製剤「エボジン」の減少、薬価改定が影響し、全体として前年並みとなりました。

がん領域の売上は、724億円（同6.6%増）と増加しました。これは、抗悪性腫瘍剤/抗VEGFヒト化モノクローナル抗体「アバスタチン」、抗悪性腫瘍剤/抗CD20モノクローナル抗体「リツキシサン」、抗悪性腫瘍剤/EGFRチロシンキナーゼ阻害剤「タルセバ」など主力製品が順調に伸長していることによります。「アバスタチン」は、大腸がんでの高い市場シェアの維持、市場導入活動の活発化による肺がんでの市場浸透の加速、加えて平成23年9月に乳がんでも適応拡大承認を取得したことにより、薬価再算定の影響を打ち消して売上が二桁増となりました。一方、5-HT3受容体拮抗型制吐剤「カイトリル」は、多数の後発品及び競合品の影響を受け売上が減少しています。

骨・関節領域は、303億円（同0.3%減）と前年並みとなりました。平成23年4月に発売されたビタミンD3製剤の第2世代となる「エディロール」が、平成24年4月の長期処方解禁により順調に市場に浸透した一方、これに伴いカルシウム・骨代謝改善1α-OH-D3製剤「アルファロール」の売上が減少し、さらには競合激化により骨粗鬆症治療剤「エビスタ」の売上が減少したことによります。また、ヒト化抗ヒトIL-6レセプターモノクローナル抗体「アクテムラ」は数量では高い成長を維持しているものの、薬価再算定（改定率25%）の影響で売上高の伸び率は鈍化しています。

腎領域では、平成23年7月に発売した「ミルセラ」への切り替えと競合の攻勢を受け、遺伝子組換えヒトエリスロポエチン製剤「エボジン」の売上が大きく減少しています。「ミルセラ」は製品特性の認知に当初想定より時間を要しており、市場浸透が遅れています。これらの結果、腎領域の売上高は229億円（同5.8%減）となりました。

移植・免疫・感染症領域（タミフルを除く）は、インターフェロン製剤の市場縮小の影響と競合品の発売によりペグインターフェロン-α-2a製剤「ペガシス」、抗ウイルス剤「コペガス」の売上が減少し、98億円（同14.8%減）と減少しました。

### [抗インフルエンザウイルス剤「タミフル」について]

通常シーズン向けの売上は、昨年を上回るインフルエンザの流行により78億円（同90.2%増）となりました。一方、行政備蓄向けの売上は、4億円（同20.0%減）となりました。

[海外製商品売上高]

海外製商品売上高は215億円（同11.4%増）となりました。これは、「アクテムラ」のロシヤ向け輸出が増加したことによります。

[損益の状況]

薬価改定の影響、製品ミックスの変化等により製商品売上高原価率が悪化し、また昨年に一時金収入の多かったその他の営業収入も減少したことから、売上総利益は1,035億円（同3.6%減）になりました。

販売費及び一般管理費については、経費の効率的な運用に努めた結果、営業費は430億円（同5.1%減）、研究開発費は262億円（同2.6%減）となりました。

その結果、営業利益は343億円（同2.6%減）、経常利益は343億円（同5.2%減）となりました。なお、前年同期に震災に伴う特別損失65億円を計上したため、四半期純利益は、209億円（同22.2%増）と大幅に増加しています。

※本項において、金額は億円未満を四捨五入しております。また、増減及び％は億円単位で表示された数字で計算しております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

[資産、負債及び純資産の状況]

当第2四半期連結会計期間末の総資産は5,422億円と、前連結会計年度末に比べ87億円増加しました。主な増減は、現金及び預金228億円の増加、有価証券100億円の増加、受取手形及び売掛金114億円の減少、商品及び製品73億円の減少です。

総負債は728億円と、前連結会計年度末に比べ16億円減少しました。主な増減は、支払手形及び買掛金94億円の増加、未払法人税等40億円の減少、未払費用などの減少による流動負債その他60億円の減少です。

純資産は4,694億円と、前連結会計年度末に比べ103億円増加しました。主な増減は、剰余金の配当109億円を実施した一方で四半期純利益209億円を計上したことによる利益剰余金101億円の増加です。

以上の結果、自己資本比率は86.2%（前連結会計年度は85.6%）となりました。

[キャッシュ・フローの状況]

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は1,175億円となりました（前年同期末残高991億円）。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、503億円の収入（前年同期は502億円の収入）となりました。主な内訳は、税金等調整前四半期純利益344億円、売上債権の減少額115億円、仕入債務の増加額94億円などです。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、159億円の支出（前年同期は37億円の支出）となりました。有価証券の取得と売却の純額で85億円、固定資産の取得で72億円をそれぞれ支出しました。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、113億円の支出（前年同期は132億円の支出）となりました。前期の期末配当金の支払いに109億円を支出しました。

※本項において、金額は億円未満を四捨五入しております。また、増減は億円単位で表示された数字で計算しております。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年2月1日に公表いたしました連結業績予想から修正しておりません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### （1）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### （1株当たり当期純利益に関する会計基準等の適用）

第1四半期連結会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」（企業会計基準第2号 平成22年6月30日）及び「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第4号 平成22年6月30日）を適用しております。

潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定にあたり、一定期間の勤務後に権利が確定するストック・オプションについて、権利の行使により払い込まれると仮定した場合の入金額に、ストック・オプションの公正な評価額のうち、将来企業が提供されるサービスに係る分を含める方法に変更しております。

これらの会計基準等を適用しなかった場合の前第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額は、31円39銭であります。

#### （外貨建予定取引に係る為替予約取引の処理方法）

外貨建予定取引に係る為替予約取引の処理方法は、従来、時価評価を行い評価差額を損益処理していましたが、近年の為替レートの著しい変動や当社における外貨建取引の増加傾向を踏まえ、為替予約に関する社内のリスク管理規程を再整備し、ヘッジの効果を財務諸表に反映させ、より適切な期間損益計算を行うため、第1四半期連結会計期間より、為替予約取引の一部についてヘッジ会計を適用し、繰延ヘッジ処理に変更しました。

当該会計方針の変更は、第1四半期連結会計期間より為替予約に関する社内のリスク管理規程を再整備したことに伴うものであり、前第2四半期連結累計期間には影響はありません。

なお、当該会計方針を適用しなかった場合と比較して、当第2四半期連結累計期間の営業利益は203百万円減少し、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ560百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表  
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	107,163	129,971
受取手形及び売掛金	110,913	99,451
有価証券	60,995	70,992
商品及び製品	87,240	79,891
仕掛品	24	161
原材料及び貯蔵品	17,719	19,367
繰延税金資産	22,742	20,632
その他	12,634	10,346
貸倒引当金	△3	△2
流動資産合計	419,429	430,812
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	47,846	46,446
その他（純額）	35,089	35,419
有形固定資産合計	82,935	81,865
無形固定資産	1,961	1,729
投資その他の資産		
投資有価証券	6,431	6,002
繰延税金資産	14,033	12,870
その他	8,862	9,042
貸倒引当金	△172	△168
投資その他の資産合計	29,156	27,745
固定資産合計	114,053	111,340
資産合計	533,482	542,152

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,350	26,759
未払法人税等	14,156	10,196
賞与引当金	5,277	4,955
その他の引当金	2,267	1,636
その他	29,769	23,762
流動負債合計	68,822	67,311
固定負債		
引当金	3,502	3,373
その他	2,085	2,112
固定負債合計	5,587	5,486
負債合計	74,410	72,797
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	72,966	72,966
資本剰余金	92,815	92,815
利益剰余金	339,476	349,560
自己株式	△36,260	△36,202
株主資本合計	468,998	479,139
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	842	1,443
繰延ヘッジ損益	—	△228
為替換算調整勘定	△12,992	△13,275
その他の包括利益累計額合計	△12,150	△12,061
新株予約権	1,015	1,098
少数株主持分	1,208	1,178
純資産合計	459,072	469,354
負債純資産合計	533,482	542,152



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位: 百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)
売上高		
商品及び製品売上高	174,760	180,004
その他の営業収入	7,177	5,259
売上高合計	181,938	185,263
売上原価	74,542	81,733
売上総利益	107,395	103,530
販売費及び一般管理費		
販売促進費	6,153	6,071
給料及び手当	14,538	14,353
賞与引当金繰入額	2,913	2,914
研究開発費	26,941	26,240
退職給付費用	1,191	1,248
その他	20,464	18,373
販売費及び一般管理費合計	72,204	69,202
営業利益	35,191	34,328
営業外収益		
受取利息	169	206
生命保険配当金	341	341
デリバティブ評価益	107	—
その他	729	489
営業外収益合計	1,347	1,038
営業外費用		
支払利息	1	1
デリバティブ評価損	—	462
固定資産除却損	95	120
固定資産廃棄損	18	32
為替差損	54	154
その他	186	246
営業外費用合計	357	1,018
経常利益	36,182	34,347
特別利益		
固定資産売却益	—	1
補助金収入	—	38
特別利益合計	—	40
特別損失		
固定資産売却損	0	—
減損損失	17	28
災害による損失	6,532	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,018	—
投資有価証券評価損	20	—
ゴルフ会員権評価損	6	—
特別損失合計	7,594	28
税金等調整前四半期純利益	28,587	34,359
法人税、住民税及び事業税	9,526	9,939
法人税等調整額	1,422	3,138
法人税等合計	10,949	13,077
少数株主損益調整前四半期純利益	17,638	21,281
少数株主利益	551	392
四半期純利益	17,087	20,889

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	17,638	21,281
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△392	600
繰延ヘッジ損益	—	△228
為替換算調整勘定	1,667	△275
その他の包括利益合計	1,274	95
四半期包括利益	18,913	21,377
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	18,274	20,977
少数株主に係る四半期包括利益	639	399

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	28,587	34,359
減価償却費及びその他の償却費	7,231	7,060
減損損失	17	28
受取利息及び受取配当金	△229	△268
支払利息	1	1
固定資産除却損	95	120
固定資産売却損益 (△は益)	0	△1
投資有価証券売却及び評価損益 (△は益)	20	—
災害損失	6,532	—
売上債権の増減額 (△は増加)	7,668	11,452
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△6,460	5,535
仕入債務の増減額 (△は減少)	8,951	9,409
その他	2,584	△2,614
小計	55,000	65,084
利息及び配当金の受取額	229	250
利息の支払額	△1	△1
災害損失の支払額	△2,047	△1,133
法人税等の支払額	△2,948	△13,893
営業活動によるキャッシュ・フロー	50,232	50,306
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△9,104	△12,132
定期預金の払戻による収入	10,836	12,191
有価証券の取得による支出	△58,993	△69,995
有価証券の売却による収入	59,700	61,500
投資有価証券の取得による支出	△2	△154
固定資産の取得による支出	△6,109	△7,180
固定資産の売却による収入	4	4
その他	△21	△109
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,690	△15,876
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の純増減額 (△は増加)	△1	△1
配当金の支払額	△12,509	△10,886
少数株主への配当金の支払額	△630	△429
その他	△13	△27
財務活動によるキャッシュ・フロー	△13,156	△11,344
現金及び現金同等物に係る換算差額	619	△93
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	34,004	22,991
現金及び現金同等物の期首残高	65,143	94,474
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	39
現金及び現金同等物の四半期末残高	99,148	117,504

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。